

アンデスの風

ボゴタ日本人学校だよりNo. 342
(平成29年度 第2号)

平成29(2017)年7月17日



ASOCIACION CULTURAL JAPONESA

Cra.8H No. 170-35 BOGOTA COLOMBIA

Tel+571-670-5130 Fax+571-672-7509

E-mail : bogota01@bogotaacj.com

URL : <http://www.bogota.acj.com>

校長 平野 恵彦 2017.7.3

第41回ボゴタ大運動会が6月11日(日)、多くのご来賓の方々、参加者の皆様をお迎えし盛大に行なわれました。また、好天にも恵まれ子ども達は競技や演技に大活躍でした。

子ども達の感想文からは、運動会を通しての心の成長が確かめられ本当に嬉しく思います。これもひとえに皆様からのご支援の賜物と感謝する次第です。ありがとうございました。来年もどうかよろしく願いいたします

運動会が終わり暫くした頃のことでした。

「子どもが見つけたのですが？」

と着任して間もない菊地先生がそう言って茂みの中の大きな実の所に案内してくださいました。普段、気にもしていない目立たない場所でした。初めて見る大きな実にビックリです。「食べられますかね？」ということなり、



ブランカさんとブリセイダさんに聞いてみたところ、「もっと大きくなって、赤い線がはっきりしてきたら食べ頃です。」ということでした。

先週、6月28日のことでした。ブランカさんとブリセイダさんが皮を剥いて果実を湯がいてくれました。菊地先生は早速、子ども達に味見をさせ、感想を聞いていました。日本の校庭で



は、柿の実やカリン、イチジク、梨などの果実を植樹している学校もありますが、未知の植物に出会うのはボゴタならではだなどと思いました。それにしても子どもの目線は、新鮮だし探求心に溢れていることに改めて驚かされました。

(果実の名は、pepino estorajero と言うことです。)

子どもの目線に立って物事を見ることが「子ども理解の基本」であると考えていますが、清水君の今回の発見に職員室も大喜びしつつ、改めて子どもの目の高さに立つことの大切さや子どもの探求心のすばらしさを再確認したのでした。

私たちも子どもの発見に触発され、逆に少し高いところに目を向けました。すると西側の塀の高いところにツタのような植物が絡みついています。葉っぱだけを見ると日本の「葛」にそっくりです。



調理した pepino



ワティラの調理

もあるとのことでした。ブランカさん達の知識にはまったく驚かされました。

ボゴタ大運動会でも多くのコロンビアの皆さんのお力もお借りしました。私たち日本人学校の教職員は、「子ども理解」にとどまらず、更に広い「人理解」に努めることが一層大切であることを子ども達やブランカさん達から学びました。日々、感謝の連続です。(植物名は4月までいらした口ひげのお似合いのベントランさんにも教えていただきました。)

ワティラを手を左ブランカさん・右プリセイダさん→

